

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 有限会社 拓藤建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営方針と企業理念を定め、従業員に周知掲示している。 ・エコアクション21のキックオフミーティングを従業員全員で行い、SDGsとの関連を説明し「環境経営レポート」を公開し情報の共有化を行っている。									8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・定期的に関係する安全研修の講義の一環としてコンプライアンスの重要性を説明し、社会人としての法令順守の重要性を従業員へ周知している。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・工事受注の見積価格は、不正競争行為に関与しない適正価格で算出し、入札に臨んでいる。															10					16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・工事受注後は、地元の方々へ工事内容の説明や要望をお聞きし安全かつ早期竣工に向けて取り組んでいる。 ・地元の方々の要望で、清掃や簡易作業等のボランティア活動を行っている。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・定期的に関係する安全研修で、特許、商標、著作権保護の必要性、重要性に関する講義を行っている。									8.2	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員の個人情報は必要最小限の利用とし、閲覧利用者を限定している。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事受注後は工事仕様書を作成し、工事内容、工法、材料品質等を双方で確認している。 ・下請契約は、ダンピングなど行わず適正価格で契約している。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・2023年11月に人事変更を行い、当時の社長が会長へ就任し新社長が事業継承した。										8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2				5				8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・外国からの研修生を雇用する際は雇用条件及び生活環境、職場環境に早くなるように力を入れている。 ・従業員には国籍等の差別やハラスメントに関する研修を受け入れる前に行っている。				4.3	5.1				8.5		10.2							16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎朝朝礼を行い当日の作業を共有し安全唱和を行っている。 ・定期的に社外講師による安全研修を実施している。 ・新規入場者には、その都度新規入場者教育を行っている。 ・新規工事着手前に安全祈願祭を行い工事の安全を祈願している。									8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員、派遣社員、協力会社社員の公平な職場待遇を行っている。 ・外国からの実習生は法律に則り雇用している。						5.5			8.5		10.2	10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・年間の休日日を策定し事前に従業員に周知している。 ・特にゴールデンウィーク、盆休み、年末年始に休日を設定している。 ・急病、家庭の事情等で休務する際は作業体制を変更している。					3				8.5		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得(一級、二級土木施工管理士等)や建設機械免許取得に向けた研修への参加、受験に積極的に取り組んだ結果、成果が出ている。 ・資格取得後は資格手当を給料に加算している。					4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・特定医療機関による健康診断を毎年行っている。 ・健康診断後再検査が必要とされた従業員には再受診を行うよう指導している。 ・体調に異変があれば早めの通院を促している。										8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国からの研修生にも技術指導を行い、小型車両系建設機械、玉掛け技能等の資格を取得させている。 ・今後も研修生の受け入れを検討している。					4.4	5.1	5.5			8.5		10.2	10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等導入している。	●		・竣工資料作成、各種資格申請等の事務処理は在宅勤務で行っている。 ・各種資格研修受講はウェブ研修参加を基本としている。						3				8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●							3	4				8	9				12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・資格取得したエコアクション21手法に則り品目別の年間廃棄量を管理し前年と比較している。 ・有害物質が発生した場合は適切な保管及び廃棄を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エコアクション21手法に則りエネルギー使用量を管理しCO2換算を行っている。 ・電気スイッチには節電のためのステッカーを貼付し意識喚起を行っている。 ・環境省推奨の「エコドライブ10」を導入している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エコアクション21手法に則りエネルギー使用量のCO2排出量を係数で算出し、前年度と比較し次年間削減量の目標を立てている。 ・2022年度を基準年度とし年間削減目標を1%減としている。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・工事着工時には周辺状況を事前に把握し、地元の方々の要望を取り入れた施工運営を行っている。 ・工事現場地域のボランティア活動に参加し河川の清掃等を行っている。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・印刷紙は再生紙を使用し両面印刷を基本としている。 ・共通情報は共有サーバーに保存し、不要な印刷を行わないようにしている。 ・工事用車両は低燃費低騒音型に切り替えている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・給水蛇口箇所に節水ステッカーを貼付し節水に取り組んでいる。 ・工事現場において発生した汚泥については法律の則った廃棄処分を行っている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・路盤用骨材は発注者の承認を受け再生材を使用している。 ・再生材使用にあたっては施工品質を低下させる事の無い様に品質管理を行っている。											9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3	14	15			17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所壁面に樹木を植栽し西日による事務所内温度抑制を行っている。 ・熊本市道路ふれあい美化ボランティア活動に会社全体で参加し表彰状を頂いた。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・環境省推奨の「エコドライブ10」を導入し環境にやさしい運転に心掛けています。 ・工事現場への乗り入れは作業員の乗り合わせで移動している。 ・建設機械は低燃費・低騒音型を使用している。										9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・発注者と協議し積極的な新技術の導入等を提案し、施工品質向上を目指している。 ・発注者と協議し新技術、使用材料品質等を施工計画書へ記載し承認を得ている。			3.9						9		12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工事施工計画書を作成し、緊急連絡先、周辺施設状況を記載し作業員への周知を行っている。 ・仮通路設置の際は案内標識及び安全柵を設置し段差の無い通路としている。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・工事着手前に地元の方々へ挨拶を行うとともに、要望を取り入れたボランティア活動を行っている。 ・工事現場周辺美化のために毎日清掃を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所、現場での地震・火災発生時の緊急時に対応するために、避難路の確保、消火器等の設置を定期的に点検している。 ・「緊急時連絡表」を作成し地元警察、消防署等を明記し常時掲示している。				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs普及活動のために会社入口や現場事務所にSDGsイラスト入り看板を設置している。 ・SDGs活動会社としてロゴマーク入り名刺を作成している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・ここ数年コロナ禍でインターンシップ受け入れが出来なかったが2023年11月に地元工業高校生2名が参加し安全講習、現場作業実習を行った。 ・今後ともインターンシップの受け入れを行っていく。				4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・インターンシップ等で勧誘を行うと共にハローワーク、就職紹介サイト等で地元若者の募集を行っていく。					4.4				8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	